

(町長提案理由の説明)

本日ここに、令和7年金山町議会第4回定例会を招集しましたところ、議員皆様のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

説明に先立ち、6月8日に急逝されました故加藤賢享議員に謹んで哀悼の誠を捧げます。

故加藤賢享議員は、平成27年、金山町議会議員に初当選されて以来、町政の発展と地方自治の振興のため、献身的に貢献され、議会の産業建設常任委員会委員を務められるなど、これからますますの御活躍を望んでいたところであります。改めまして、これまでの生前のご功績とご労苦に対しまして、深く感謝を申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

本年度に繰越した事業の進捗状況について報告致します。

まず、田沢集会所建築事業については、設計が完了し、まもなく工事を発注致します。今年度中に、建築を完了し来年度周辺整備を行う予定であります。非課税世帯を対象に1世帯当たり3万6千円を給付する物価高騰対応非課税世帯臨時特別給付金事業は、支給事務が完了いたしました。町民1人当たり1万円分の商品券を給付した物価高騰対応消費下支え商品券発行事業については、5月末をもって有効期限になりましたので、現在精算事務を行っているところであります。その他の繰越事業についても完了もしくは鋭意事業の推進に取り組んでおります。

次に、災害関連で町道野尻線、三更地区の災害復旧工事についてであります。仮復旧で片側交互通行としておりましたが、1月6日頃から現場内の土留め矢板の動きが確認されたため、車両通行止めとしており、現在、東北電力株式会社において設計の見直しを行っている段階であります。今後は、仮設道路により車両が通行できるよう工事を行う予定であります。

次に、令和3年7月から通行止めが続いておりました県道小栗山宮下線ですが、町内回覧でお知らせしたとおり 6月23日から通行止め解除となる予定であります。ただし、危険な場合は、現場の回転灯が点灯しますので通行は控えて頂くようになります。

次に、JR只見線についてであります。2月から5月までの3ヶ月に渡って、会津川口・只見駅間が豪雪により不通となり只見線利用者・観光に訪れた方には、大変ご不便をおかけ致しました。豪雪とはいえ、再開までに3ヶ月も要したことは記憶にありません。5月30日に開催されました只見線利活用推進協議会の席上で、雪崩対策、除雪体制について検討し、通年運行に取り組んで頂くよう意見要望を申し上げて参りました。

国道252号田子倉地区の出逢橋についても、落橋により現在、新潟県への通行ができない状況であります。旧道を利用し仮橋をかけて復旧させるという県の報道がありました。再開通の時期は7月に公表されるということですが、お盆までに通行できるよう期待しております。

次に、4月7日にかねやま小学校の開校式が行われました。今年度の新入生は10名で、34名の児童数となりました。今後の小学校教育において今まで以上の成果が出されることを期待し、中学校を含め「郷土を担う心豊かな人間の育成」に取り組んで参ります。

同じ4月7日に、福島県知事が来庁され、少子化対策、川口高等学校について意見交換を行いました。知事は、特に今年は少子化対策において若者の婚活対策に取り組むと同時に、若者の県外流出対策にも取り組んで行く事などを話されました。私から移住定住状況

について説明し、今後も県の支援をお願いしました。

次に、会津総合開発協議会役員による要望活動を5月 12日、5月23日の2日間、議長と共に実施して参りました。12日は、東北地方財務局、整備局、運輸局等へ、23日は、総務省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省等を含め県選出国會議員に、会津地方17市町村の振興対策課題解決の実現に向けて要望活動をして参りました。

次に、スポーツの話題ですが、川口高等学校において、陸上競技の競歩などで東北大会の出場を勝ち取る成績を収め、先日報告に来庁されましたので、それぞれの大会での健闘を激励しました。

また、ゲートボール競技においては、6月21日・22日の全国大会に金山町選抜女子チームが出場となります。また、グラウンドゴルフとゲートボール競技において、福島県代表としてねりんピック全国大会に出場が決定するなどうれしい話題も届いております。町民それぞれが、活躍し、金山町を町内外に発信できることを大変心強く思っております。

次に、5月31日に閉鎖しました令和6年度金山町一般会計の収支状況について報告いたします。

歳入総額は、37億8,916万6千円、歳出総額は、35億8,364万3千円で、差し引き2億552万3千円となり、繰越明許費2,848万4千円を除いた実質収支は1億7,703万9千円の黒字決算となっております。決算の詳細については、9月定例会において報告いたします。